

年 組 名前

2021年8月2日付市民版他



## 触れるとけがするぜ

### ハリセンボン


普段はのっぺりしてるとは、水を飲み込むと大変身だ。風船みたいに膨らんで、体中の針がピシッと立つぜ。ほらほら、おいらに触れるとけがするぜ。

いや、海の中にはでっかくて、恐ろしい魚もけっこういるだろ。サメ君とかイルカ君とかおっかねーし、こっちも身を守るために必死なんだ。

ただ、膨らんだところは、飼育員さんも年に数回しか見られないんだ。居合わせたらラッキーと思わないとダメだぜ。

あ、この針、本当は千本もないらしいぜ。だいたい三百五十本くらいだつて。誰だ？ うそついたのは、ハリセンボン飲まずぜ。

写真・桜井 泰  
文・西田直晃

 ハリセンボン フグ目ハリセンボン科。体長30〜40センチほど。全世界の熱帯から温帯に広く分布する。皮膚が厚く、体表にうろこが変化したたぐさの鋭いトゲを持つ。トゲは普段は寝ており、体を膨らませた際に立つが、その際は動けなくなる。



※ <sup>おとな</sup> <sup>ひと</sup> <sup>き</sup> <sup>じ</sup> <sup>よ</sup> 大人の人に <sup>かんが</sup> 記事を読んでもらって考えましょう。

とい  
問1：ハリセンボンは、どうやって <sup>はり</sup> <sup>た</sup> 針を立たせるのでしょうか。

とい  
問2：ハリセンボンが <sup>からだじゅう</sup> 体中の針を立たせるのは、<sup>さかな</sup> <sup>み</sup> どんな魚から <sup>まも</sup> 身を守るためでしょうか。 <sup>ふた</sup> <sup>か</sup> 二つ書きましょう。

問3：ハリセンボンは、<sup>じっさい</sup> <sup>なんぼん</sup> 実際には何本くらいの針を立たせているのでしょうか。

くらい